

# かきの木いっぽん みが三つ

宮脇紀雄 絵・村上 豊





かきの木いっぽん みが三つ 宮脇紀雄・作

1979年11月／初版発行

発行所／株式会社金の星社 ■111

東京都台東区小島1-4-3  
電話／東京03-861-1861(代)  
振替／東京0-64678

写 植／(有)松竹写植  
製 版／(株)ユニプロセス  
印 刷／熊谷印刷(株)  
製 本／東京美術紙工  
© Toshio Miyawaki & Yutaka Murakami

913 宮脇紀雄

かきの木いっぽん  
みが三つ  
金の星社  
72P 22cm

基本カード記載例

8393-052141-1406 ■乱丁落丁本は、ご面倒ですが小社営業部宛ご送付下さい。送料小社負担でお取替えいたします。

# かきの木いっぽん みが三つ

みやわきとし あ  
宮脇紀雄・作

むらかみ ゆたか  
村上 豊・絵







まいにち あつい日が つづきます。

がつこうも きのうから、なつやすみになりました。

ユカは、にわの かきの木の下で、ひとり、  
なわとびをしています。

ユカのうちの かきの木は、ひとかかえもある  
大きなものです。きんじょにも これほど  
大きい木はありません。四ほうに えだを  
ひろげ、はっぱを いっぱい しげらせて、  
日かげを つくっています。



しろいブラウス、あかいスカート。

ユカは、まるいかおに あせを いっぱいかいて、

二に じゅうまわしに ちようせんしています。



「ユ一力ちゃん……」

うたうような よぶこえです。

「はあーいい……」

ユ力も なわとびを やめて、 うたうように  
へんじをしました。

きんじよの 工ミちゃんが、 あそびに  
きたのです。ユ力と 工ミちゃんは、 おなじ  
一ねんせいで、 だいの なかよしです。

なつやすみになつてから、 あうのは  
はじめてですが、 ふたりとも がつこうが  
やすみで たいくつしているようです。



ユ力の うちは、とうきょうの きたのはしです。  
むかしは はたけと のうかだけだつたのが、  
ちかごろ つぎつぎ あたらしいいえが、  
たちならんできました。そんななかに、  
のこつて いる 一けんの のうかです。  
でも いまは、おとうさんは かいしやづとめ。  
おじいさんが ひとりで、はたけに いろいろな  
やさいを つくっています。



「あついのう。」

あせを ふきふき、おじいさんが、はたけから  
もどつてきました。

「おじいちゃん、こんにちは。」

エミちゃんは ペこんと おじぎします。

「おお、こんにちは。」

おじいさんは にわいしに こしを

おろしました。

「ここあ、すずしゅうてええ。かきの木き

よう しげつとるで。」

おじいさんは かきの木きを  
みあげていいました。

「どうじや、ことしも みが、うんと なつとるぞ。

あきには また、うまいかきが、うんと

くえるじやろ。」

——ギヤーッ！

とつぜん かきの木きの上うえから

へんなこえが きこえてきました。

「な、なんなの？」

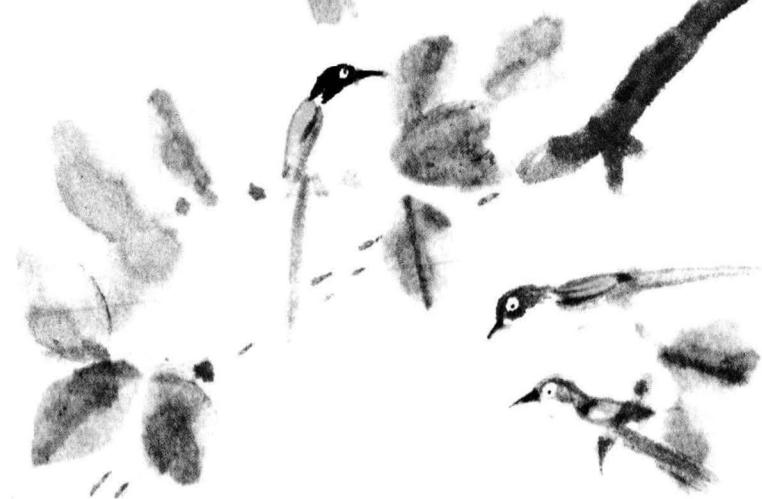
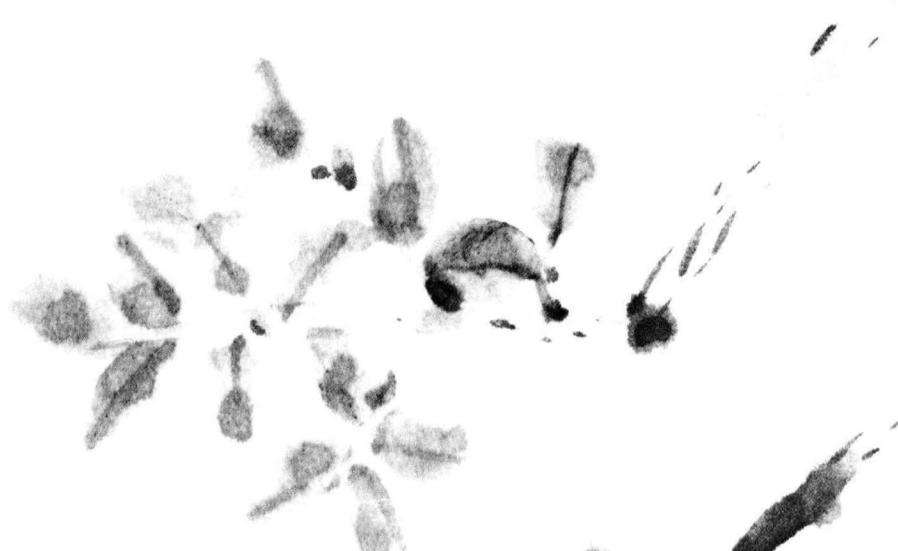
「いやだあ。」

ユカと エミちゃんは、

どきつとして

上うえを みあげました。





「はははは、とりじや　とりじや、オナガよ。」

おじいさんは　わらいました。

「オナガは　おつぽのながい、きれいな　はねの  
とりじやが、こえのわるいが　たまに　きずよ。  
ほら　あそこに。」

おじいさんの　ゆびさす　かきの木の　えだに、  
むらさきいろの　おのながい　とりが、二に、三さんば  
きています。

「このへんも　だんだん、木きが　なくなつてのう。  
とりたちも　いるところが　ないのさ。」

「うちのかきの木、

とまつてて いいわよう。」

ユカが、そういつても、

——ギヤーッ……

また、へんな こえです。

「おかしいの。」

——ギヤーッ……

オナガは、そ なくと

とんでいきました。



